opusdei.org

## 年間第2週·水曜日 12. 日常の信仰生活

年間第2週・水曜日 12. 日常の信仰生活 — 信仰は実行するものであり、日々の様々な出来事に染み通っているべき。 — 信仰と「超自然的な観点」。 — 信仰と自然徳。

2024/04/02

年間第2週・水曜日

12. 日常の信仰生活

- 一 信仰は実行するものであり、日々の様々な出来事に染み通っているべき。
- 一信仰と「超自然的な観点」。
- 一 信仰と自然徳。

12.1信仰は実行されるものであり、日々の小さな出来事の中で具体化され、それに価値を与える

行うことか。命を救うことか、殺すことか」。彼らは黙っていました。 イエスは、彼らの頑なな心を嘆怒、 同時に彼らの偽善に腹を立て、怒り て見回されました。イエスの怒 は、どの人にも明らかでした。「 スは、その人に言われました。「 を伸ばしなさい」。伸ばすと手は どおりになりました。

皆の前に立っていた片手の不自由な 人は、イエスを信頼しきっていまし た。彼は、手を伸ばすということ、 つまり主に従い、長い経験ではその 時まですることができなかったこと を実行することで、自分の信仰を証 明しました。彼の主に対する信頼 は、慢性の状態を無視し、奇跡を可 能にしました。イエスは何でもおで きになるからです。私たちの力では どうにもならないことが、信仰に よって、実現可能になるのです。個 人的な問題か、あるいは使徒職に関 することで、できないと思っていた 問題を解決できるようになるのです。深く根を下ろしている欠点を取り除くことができるようにもなるのです。

この男の生活は、キリストが要求し たわずかな努力の後、全く新しい方 向に向かうものでした。これは、イ エスが私たちに、日々の生活におけ る普通の出来事の中でしてほしいと 願うことでもあります。今日、私た ちは、キリスト者がどのような態度 で信仰と希望と愛の徳を実行に移し ていくかを考えなければなりませ ん。「神の助けをたよりに行動する 人の真髄は、そういう生活の中に あ」<sup>2</sup>るのです。 もし自分にできな いことがあれば、私たちには、主の 助けが必要です。

信仰は、「実行しなければならない」ものです。信仰は、大きいか小さいかは別にして、私たちの決心すべてを左右するものです。と同時

に、それは大抵の場合、日常生活の 義務を果たすことに表されます。使 徒信条の偉大な真理に同意すること や良い形成を受けることで十分では ありません。これに加えて、信仰を 生きること、信仰を実行すること、 信仰の行為が必要です。同時に、私 たちが信じていることの実りであり 表明である〈信仰生活〉を生み出す べきなのです。私たちが生活でもっ て、行いをもって、身体と霊魂のす べての力を挙げて、神に仕えること を主はお望みなのです。信仰は、生 活、それも毎日の普通の生活に関係 しているものです。ですから、私た ちの生活が信仰と一致して、一人ひ とりに対する神の意志が何であるか 知るのなら、人間の存在そのもの は、信仰の表れそのものになるわけ です<sup>3</sup>。 私たちは信仰生活を送って いるでしょうか?私たちの信仰は、 その行いや決心に本当に重要な意義 をもっているでしょうか? どうで しょうか。

## 12.2 信仰と超自然的見方

日常生活の中で信仰の徳を実行すれ ば、超自然的な見方ができるように なります。最もありふれた、ごく平 凡な事柄を、私たち自身の救いと他 の多くの人々の救いに関する神の計 画との関係において見ることができ るようになるのです。私たちがする ことは、実際に神の意志であるの か、私たちがどのようにすることを 神は望んでおられるのかを知るため に、常に神を眺めながら行うことが 習慣づきます。更に、人々の中に神 を見出し、世間では偶然や事件と呼 ばれるものの背後に神を認識し、神 のしるしをどこにでも見ることが習 慣としてできるようになります⁴。

キリスト教的生活つまり聖性とは、 人間に固有な事柄に反対したり、避 けたりするための防御服ではありま せん。超自然徳は、人間徳に影響を 与えるべきですし、キリスト者を仕 事場でも家庭でも正直で模範的な人 とし、高潔さと公正さに満ちた人に してくれるのです。そして忠実、誠 実、快活、喜びが外に輝き出る行動 において、誰よりも抜きん出る人に してくれるのです。「すべて真実な こと、すべて気高いこと、すべて正 しいこと、すべて清いこと、すべて 愛すべきこと、すべて名誉なこと を、また、徳や賞賛に値することが あれば、それを心に留めなさいし ⁵。聖パウロは、カイサリア・フィ リピの最初のキリスト者にこのこと を思い出させました。

したがって、キリスト者の信仰生活は、人間徳を持つ人になるように導きます。信仰を日常の行いの中で実践していくからです。遠くに教会の建物を見て、信仰の行為をするように心が向くのを感じるだけでならうないでも場で問題に直面した時には、心を神に向け、神の光と助けを願うでしょう。逆境を受け入れなけ

ればならない時、苦しみや病気に直 面した時、喜びを捧げる時、疲労に よって中断しようとしていた仕事を 愛によって続ける時、どのようにし て自分の考えを神に合わせればよい かわかることでしょう。使徒職にお いて、ゆるしの秘跡を受けたいと望 む人々のために恩恵の光を乞い願う でしょう。働きがその霊魂の上に始 まったばかりなので実りが見られな いときも、真の超自然的展望を持つ でしょう。「土を砕き、溝を切り拓 く鋤の刃は、種も実も目にすること ができない| 6。信仰、希望、愛は 常に実行されなければなりません。 すでに長く続いている問題や障害に 直面しているのに気づかれ、主は私 たちに「手を伸ばしなさい」と言わ れます。信仰は、信心行為を行って いる間に時々実践するのではなく、 スポーツをしている間、会社にいる 間、往来の真ん中にいる間に実践さ れる徳です。ましてや信仰は、何人 かのキリスト者が考えているよう

に、日曜日の掟を果たす時、その日曜日のために行う徳でもありません。

今日、私たちが行うことすべてに意 表を与え、その価値を増し、人与えいでに動きなってに新しい意味をはまれるではいるが行うないででは、私たちが行うはいるができまれたちが行うはができません。 との行いに変えることができまがでは超いに変えることができまがである。 との行いになりますがしまります。 は、大きではいるがいたものできまができまができまがである。 とのもりになるかいたものもります。

## 12.3信仰と自然徳

キリスト教信仰は、一生を完全な改心に導きます。それは私たちがいつも行いを正すこと、常に生活や振舞いを改善に向けて努力することを要求します。特に、信仰は完全な神であり、完全な人であるイエス・キリストに似るように導きます<sup>7</sup>。私た

ちを、劣等感や他人の目に対する過 度な懸念を持たない、バランスの良 くとれた男女であるように導くで しょう。判断する時や商業取引にお いて、また私たちの会話において、 誠実で正直にさせてくれます。人間 徳は人を人らしく、正しく言えば男 性を男性らしく、女性を女性らしく するものです。だからこそ、完全な 人であるイエス・キリストは完全に この人間徳を生きられたのです。敵 でさえイエスの全き力、力強い男ら しさに驚いたほどでした。彼らはあ る時こう言っていました。「先生、 わたしたちは、あなたが真実な方 で、真理に基づいて神の道を教え、 だれをもはばからない方であること を知っています | °。

イエスの人間的特徴をみるとき、最初に注意を引かれることは、行動するときの男らしい明敏さ、印象に残る忠実さ、確固とした誠実さであり、即ち、人格の英雄的性格です。

これは最初の出会いで弟子たちを引きつけたものでした。 イエスは、キリスト者として生きるべき様々な人間的資質のすべての模範を私たちに示してくださいました。

イエスは、人間徳の完全さが非常に 大切だと考えられたので、弟子たち に次のように諭されました。

「わたしが地上のことを話しても信 じないとすれば、天上のことを話し たところで、どうして信じるだろ う | <sup>10</sup>。困難や暑さ寒さ、ちょっと した病気に直面したときに、人間的 快活さがなければ、どこで剛毅とい う枢要徳が見出されるでしょうか。 いつも不平を言ったり泣き言を言っ たりする人は、剛毅の徳をどのよう に獲得し、その徳に生きるでしょう か? 落ち着いて勉強することを延期 したままの学生が、責任感と分別の ある人にどのようにしてなるという のでしょうか? もし人間的な温か

さ、柔和さ、細やかな礼儀正しさ、 感じの良さに関心を持っていないと すれば、その人がどうやって愛徳を 実行できるでしょうか? 恩恵は人を 完全に変えることができるけれど も、聖書と教会の生活の中に多くの 例があるように、通常、神は人間徳 の貢献を当てにしておられるので す。

キリスト者の生活は、尊厳を与えら れ、紹自然的段階まで高められた人 間の行いをとおして表されます。他 方、人間の中の人間的なものは超自 然的なものを支え、超自然の徳を可 能にします。おそらく私たちは一生 の間に、自称キリスト者と呼ぶ多く の人に出会います。というのも、彼 らは洗礼の秘跡を受けており、他の 秘跡にも与っているが、その振舞い は不誠実で傲慢。束の間、空高く光 り輝いた途端に消えてしまう流れ星 のように、たちまちにして倒れてし まうので $\tau^{11}$ 。 人間的な土台が欠け

るので、高潔でいることができない のです。信仰、希望、愛と倫理徳を 実践することによって、キリスト者 は社会が期待する生きた模範になる ことができます。神は、母性と喜び でキリスト者の証人となる力強さを 持つ母親、どうしたら子どもたちの 友になれるかを弁えている母親を期 待しています。神は、誠実なビジネ スマンや専門的形成を怠らないで研 究のために一定の時間を確保する医 者、また、同じような状況に自分が 置かれたらそうしてほしいと思うよ うに、患者に理解と喜びをもって接 する医者を期待しています。同時に 医者は、同僚の専門職に関心を持つ べきです。神は、農夫、大工、工場 労働者、建築現場の人々にも同じよ うに熱心さを期待されています。毎 日の生活のまさに日常的なことをと おして発見される偉大な理想を示す ことのできる円熟した男女を望んで おられます。

生涯のあらゆる状況を信仰によって生きた「正しい人」 12 であるという立派な徳の模範を聖ヨセフに見出します。私たち一人ひとりが、自分が置かれている環境や状況の中で、神がお望みになるとおりになれるよう助けてくださいとお願いしましょう。

<sup>1</sup>マルコ3・1-6

<sup>&</sup>lt;sup>2</sup> 聖ホセマリア・エスクリバー 『知 識の香』 169

<sup>&</sup>lt;sup>3</sup> P. ロドリーゲス、信仰生活、パン プローナ、1974年、p.172参照

<sup>&</sup>lt;sup>4</sup> F.スアレス、『司祭になるとは』

<sup>5</sup>フィリピ4・8

<sup>&</sup>lt;sup>6</sup> 聖ホセマリア・エスクリバー 『拓』 215

<sup>7</sup>アタナシオ信経

- <sup>8</sup> マタイ22・16
- <sup>9</sup> K.Adam, Jesus Christ
- 10 ヨハネ3・12
- <sup>11</sup> 聖ホセマリア・エスクリバー 『神の朋友』 75
- 12 マタイ1・19

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/TO-II-sui/ (2025/12/10)